

中国青銅器

の時代

Sen-oku Hakukokan Museum

BRONZE
GALLERY



泉屋博古館
SEN-OKU HAKUKOKAN MUSEUM

主催：公益財団法人泉屋博古館
後援：京都市 京都市教育委員会、
京博連、公益社団法人京都市観光協会、
NHK京都放送局、京都新聞

〔入館料〕

一般＝1200円(1000円)

学生＝800円(700円)

18歳以下無料

※学生より18歳以下の場合は証明書の提示が必要です

※20名以上は()内の団体料金、障がい者手帳を提示の方は無料

※本展覧会の入場料で企画展もご覧いただけます。

〔戎首(えびす)〕 泉屋博古館蔵



〔鴟鴞尊(しゅうおうそん)〕
最末期 前13～前12世紀



Press Release

〔虬光鐘(りゅうこうしょう)〕
戦国前期 前5世紀



2025年

9月27日(土)～12月14日(日)

休館日：月曜日、10月14日、11月4日、11月25日、

(10月13日、11月3日、11月24日は開館)

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

泉屋博古館

京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24

TEL: 075-771-6411

〔特集展示〕

殷周青銅器

●複雑繊細な
殷周青銅器の
造形は、いったい

解体新書

●『殷周青銅器の造形』Gallery203

どのような技術によって生み出されたのか。その謎に、
当時の鋳型づくりの角度から迫っていきます。

共同研究にもとづく成果を一挙に公開！



〔施咒航(しじょうかう)〕
最末期 前5世紀

展覧会概要

泉屋博古館（京都・本館）では、ブロンズギャラリー 中国青銅器の時代 特集展示「殷周青銅器 解体新書」を2025年9月27日（土）から12月14日（日）まで開催いたします。今年、約半世紀ぶりのリニューアルを迎えた泉屋博古館では、世界最高峰とも称される住友コレクションの青銅器を、新しくなったブロンズギャラリーにて一挙に公開。動物をかたどったユーモラスで愛らしいものから、金属ならではの厳しくも優美なる造形まで、中国古代の青銅芸術を存分にお楽しみいただけます。秋季は殷周青銅器の鑄造技術にせまる特集展示を公開。奥深き殷周青銅器の世界へとみなさまをご案内いたします。



模と範が生み出す青銅芸術——いまから約三千年前の殷周時代、古代の工人たちのイマジネーションと超絶技巧によって生み出された青銅器の数々は、美術工芸の「模範」としてのちの時代に大きな影響をおよぼしてきました。

複雑繊細な殷周青銅器の造形はいったいどのような技術によって生み出されたのか。その謎に当時の鑄型づくりの角度からせまっていきます。台湾中央研究院歴史語言研究所、芦屋釜の里との共同研究にもとづく成果をご紹介します。

[会場] ブロンズギャラリー Gallery_03

こゆう
虎首
殷後期／前11世紀

01

gallery

しきようぞん
鴟鵂尊
殷後期／前 13-12 世紀



鴟鵂はフクロウ・ミミズクをさす中国古代の語。その立像をあらわした器は世界的に見てもめずらしい。270度首を回すことができる実物にならうように、首から上がふたとしてつくられているのは、当時の職人の遊び心だろうか。

泉屋博古館の象徴的存在、ブロンズギャラリーに足を踏み入れると、そこは約 3000 年前の古代中国の世界。最新鋭の展示ケースによって浮かび上がるのは超絶技巧によって生み出された名品の数々。Gallery_01 ではそのなかでも動物型のかわいらしい造形の器が集まっています。

かゆう
戈卣
殷後期／前 12-11 世紀

2羽の鴟鵂が背中合わせになったような形の器。ふたの内面と器の内底に「戈」という銘文が入ることから、この名で呼ばれている。やや内股気味の脚が人気のポイント。



Gallery_02 では青銅器のさまざまな種類や用途を紹介。
摩訶不思議な形にもちゃんと用途があることがわかったと、
最初はとっつきにくかった青銅器にも親しみがわきます。
ここではそのなかでも美しい／変わった形の器をご紹介します。



えんかもんたい
円渦文敦
戦国前期／前 5 世紀

敦は穀物を盛るための器で、半球状で同形のふたと身に別れるのが特徴的。身には三脚がつくが、ふたにも 3 カ所につまみがつき、ふたを逆さにして置いたときに安定するような工夫が加えられている。



簋も穀物を盛るための器だが、本器は方形の台座がつき、しかもその内部に鈴が取り付けられている。儀式的場で参列者がうやうやしくこの器を祖先神に捧げるたびに、鈴が鳴って儀式の神聖さをより一層強調したことであろう。

とうてつもんほうざき
饗飗文方座簋
西周前期／前 11-10 世紀

につきらい
日癸壺
西周前期／前 11 世紀

壺は大型の酒器の一種で、殷代後期から西周前期にかけて流行した。断面方形のものと円形のものがあり、本器は後者のなかでも曲線美の目立つ優品のひとつ。くびれた首から強く張り出した肩にかけて、さらには胴部から底部へと、流れるような曲線のフォルムが美しい。両肩には把手がつき、内部に青銅製の輪が通されている。胴部中央には牛の頭をかたどった把手もついており、どうやらそれが器の正面を示しているらしい。壺は酒を貯めるための器で、宴席の場では中央に置かれ、ここから銘々に酒が汲み出されたと考えられている。



gallery

02

日台共同研究の成果 この秋一挙公開

中央研究院歴史語言研究所

×

芦屋釜の里

×

泉屋博古館



gallery

03

Gallery_03 では謎多き殷周青銅器の鑄造技術にせまる特集展示を開催。台湾中央研究院歴史語言研究所×芦屋釜の里×泉屋博古館の三者共同で、中国古代の鑄型づくりの技術を解明する研究に取り組み、その成果を一挙公開。復元制作の様子をおさめた動画なども交えながら、鑄物の技術についても詳しくわかりやすくご紹介します。鑄型づくりをイメージすることで、青銅器の造形がより直感的に理解しやすくなります。

鑄型
殷後期／前 12-11 世紀



平底から丸底へ？



とうてつもんへいとしやく
饗養文平底爵
殷前期／前 14 世紀



殷代にもっとも流行した酒器のひとつ、爵は出現当初は平底だが、徐々に丸底へと変化していく。一見すると些細な変化のようにも見えるが、その背景には当時の工人たちが編み出した鑄型づくりの技術の革新がかかわっている。その詳細はぜひ会場で。

とうてつもんしやく
饗養文爵
殷後期／前 13-12 世紀

04

重要文化財
画文帯同向式神獸鏡
後漢末～三国／3世紀



Gallery_04 では主に青銅鏡にフォーカスし、中国の青銅器文化が周辺地域にどのような影響を与えたのかを追っていきます。貴重な国宝や重要文化財が展示されているのもこのお部屋です。

国宝
せんごくぶつしょうぜんきやうぞう
線刻仏諸尊鏡像
平安／12世紀

中国で生み出された青銅鏡は、やがて日本列島にももたらされ、中国鏡を模倣しながら独自の鏡の形式が生み出されるようになった。本鏡はいわゆる八稜鏡とよばれる形式をとり、8枚の花弁が緩やかに開くような形状だが、これは中国の唐代後半期に流行したスタイル。鈕をはさんで一對の鳥と瑞花の文様が鏡背面に配される。さらに鏡面には、中央上段に蓮華座に座す如来、その周囲に象・獅子に騎乗する普賢菩薩・文殊菩薩をはじめとする諸尊が、繊細な鑿彫によってあらわされている。平安～鎌倉時代に流行した鏡像とよばれるもので、本鏡はそのなかでも出色の出来栄を示す逸品。



開催概要

展覧会名	中国青銅器の時代 Gallery_03 特集展示：殷周青銅器解体新書
会 期	2025 年 9 月 27 日(土) — 12 月 14 日(日)
開館時間	午前 10 時—午後 5 時（*入館は午後 4 時 30 分まで）
休 館 日	月曜日、10 月 14 日、11 月 4 日、11 月 25 日（10 月 13 日、11 月 3 日、11 月 24 日は開館）
入 館 料	一般 1,200 円(800 円)、学生 800 円(700 円) *学生ならびに 18 歳以下の方は証明書の提示が必要です * 20 名以上は()内の団体料金、障がい者手帳ご提示の方は無料 *本展覧会の入場料で企画展もご覧いただけます
会 場	泉屋博古館 〒 606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町 24 Tel: 075-771-6411
主 催	公益財団法人泉屋博古館
後 援	京都市、京都市教育委員会、京博連、公益社団法人京都市観光協会 NHK 京都放送局、京都新聞
お問い合わせ	泉屋博古館（広報担当：坂井さおり 担当学芸員：山本 堯） web: https://sen-oku.or.jp/kyoto/ e-mail: pr-kyoto@sen-oku.or.jp



泉屋博古館青銅器館外観

会期中の催し

台湾中央研究院歴史語言研究所の内田純子氏を招いた特別講演会や、学芸員によるギャラリートークなど、会期中イベントも各種予定しています。詳細は以下の展覧会ページをご覧ください。

https://sen-oku.or.jp/program/20250927_bronzegallery/



右の QR コードからアクセス

交通アクセス

京都市バス	JR・新幹線・近鉄電車「京都駅」／京阪電車「三条駅」から 5 系統 阪急電車「烏丸駅」から 32、203 系統 地下鉄烏丸線「丸太町駅」から 93、204 系統 5、93、203、204 系統：「東天王町」下車、東へ徒歩 200 メートル 32 系統：「宮ノ前町」下車すぐ
地 下 鉄	東西線「蹴上駅」から徒歩約 20 分



泉屋博古の庭



貸出可能画像（*すべて泉屋博古館蔵）



こゆう
虎卣
殷後期／前 11 世紀



しきようそん
鷗鵲尊
殷後期／前 13-12 世紀



かゆう
戈卣
殷後期／前 12-11 世紀



とうてつもんへいていしゃく
饗養文平底爵
殷前期／前 14 世紀



につきらい
日癸壺
西周前期／前 11 世紀



げんじこう
旃兒觥
西周前期／前 11 世紀



とうてつもんほうざき
饗養文方座簋
西周前期／前 11-10 世紀



重要文化財
がもんたいどうこうしきしんじゆうきょう
画文帯同向式神獸鏡
後漢末～三国／3 世紀



国宝
せんこくぶつしよぞんきょうぞう
線刻仏諸尊鏡像
平安／12 世紀